

千葉県小中学校体育連盟バスケットボール専門部  
(一社)千葉県バスケットボール協会 U15 カテゴリー部会

# 新型コロナウイルス感染症 拡大防止ガイドライン

(2023年4月23日作成)

## 【本ガイドラインの目的】

- 新型コロナウイルス感染症への感染，および感染拡大を最大限防ぎながら，千葉県の中学生のバスケットボールの競技会を開催すること。
- 感染リスクを下げるために関係者が遵守すべき基準を示すこと。
- 感染が生じた場合の対応を示すこと。

## 【本ガイドラインの拘束力】

- 競技会参加者は，本ガイドラインの記載事項を遵守しなければならない。

# 目次

---

## **1 大会の参加について P 3**

- 1 チームの大会への参加の可否 P 3
- 2 大会本部の権限（参加資格取り消しや大会中止） P 3

## **3 感染対策について P 4**

- 1 会場における感染対策 P 4
- 2 観客の入場制限及び管理 P 4
- 3 「3密回避」のための競技フレーム（試合日程） P 4

## **3 参加者の遵守事項 P 5**

- 1 健康観察 P 5
- 2 感染防止策 P 5
- 3 大会本部への報告・連絡 P 6

## **4 その他 P 6**

# 1 大会の参加について

---

## 1 チームの大会への参加の可否

---

チーム責任者が、選手やスタッフの健康状態を把握し、判断する。

<推奨事項>

- ・感染者に対しては、以下の事項を推奨する。

新型コロナウイルス感染症の発症後、5日を経過し、かつ、症状軽快から24時間経過するまでの間は外出を控えること。その後、10日を経過するまでは、マスク着用やハイリスク者との接触を控えること。
--

## 2 大会本部の権限（参加資格取り消しや大会中止）

---

大会参加者の健康状態や、社会情勢から大会本部が以下のように判断することがある。

### 【大会本部の権限】

(1) 大会本部は以下の権限を持つ。

- ・大会本部は、ガイドラインを遵守しなかったチームに対し出場辞退を勧告し、参加資格を取り消すことができること。

### 【大会中止の判断】

(1) 感染拡大が懸念される場合

- ・関係する自治体や主催者が、感染拡大が懸念されると判断した場合は大会を中止する。

(2) 不可抗力によりチームが大会に参加できない場合

- ・不可抗力とは、県や市町村の自治体や行政により大会参加に関わる部分的な制限がある場合を指す。
- ・自治体や関係団体の方針を考慮しながら、主催者が検討し、判断する。

(3) 辞退によりチームが大会に参加できない場合

- ・チーム事情により大会参加できない場合を指す。
- ・チーム事情によるものであるため、基本的に大会は実施/継続とする。但し、一定数以上辞退チームがある場合には、大会中止を検討する。

## 2 感染対策について

---

### 1 会場における感染対策

---

#### (1) 受付

①チームの会場入りの時間は、特に指定しない。

#### (2) マスク・ホイッスルカバー等の着用

①大会参加者（選手、スタッフ、役員、観客等）の体育館内でのマスクの着用は、個人の判断とする。

※会場独自の規制がかかる場合はそれに従うこととする。

②審判員は、原則レフェリーマスクを着用する。

※ホイッスルカバーの着用は個人判断とする。

※マスク着用の上、電子ホイッスルを使用することも可とする。

#### (3) その他

ソーシャルディスタンスの確保や手洗いうがいなど一般的な対策を行うこととする。

## 2 観客の入場制限及び管理

---

#### (1) 観客の有無

＜公共の体育館＞

・有観客で行う。原則、人数制限は特に設けない。一般客の入場も可とする。

＜学校施設の体育館＞

・有観客で行う。ただし、原則として以下のような人数制限を設ける。

人数制限：1チーム当たり、18名までのチーム関係者（保護者、職員等）

※支配下登録されているベンチ外メンバーは上記の18名に含めず入場可とする。

※施設によっては、入場可能な人数が変更される場合がある。

## 3 「3密回避」のための競技フレーム（試合日程）

---

#### (1) 試合数

①1会場最大3コート展開、1日最大6試合までとする。

②前の試合の「いわゆるハーフアップ」を実施する。そのため、試合開始前のアップ時間は、原則10分とする。

③メディカルタイムアウトは大会ごとに実施の有無を検討する。

#### (2) コートデザイン

・ベンチや役員席は、市松模様でなく横一列に並べることとする。

## 3 参加者の遵守事項

---

参加者は、本ガイドラインの記載事項を遵守しなければならない。

### 1 健康観察

---

- ・チーム責任者が、選手やスタッフの健康状態を把握し、管理する。管理の方法は、チームが独自に設定して良いとする。
- ・大会本部への健康チェックシート等の提出は求めない。

### 2 感染防止策

---

#### (1) 会場内に関すること

- ・混雑状況や、会場内の広さに応じて適宜対策する。

#### <客席・ベンチ・フロアでの応援や声出し>

##### 1) 禁止事項

- ・「選手や観客等が通常よりも大きな声量で反復・継続的に声を発すること」は禁止とする。
- ・「野次や罵声等誹謗中傷に繋がる表現」は大声でなくとも禁止とする。

##### <具体例>

- ・通常よりも大きな声量での会話
- ・反復または継続的に行われる応援・合唱

##### 2) 緩和事項

- ・「得点時の一時的な歓声等」は可能とする。ただし、反復・継続的な大声に繋がらないよう、チームごとに来場者向けのアナウンスや管理を徹底すること。

##### <具体例>

- ・ショットやアシスト、スティール、ブロック等好プレー時の一時的な歓声等  
※例)「オー!!」、「ワー!!」、「よっしゃー!!」、「キャー!!」等
- ・予期せぬ結果が生じた時の一時的な歓声等  
※例)「あー!!」、「えー!!」等
- ・隣の人と会話する程度の声量で反復・継続的に声を出すこと
- ・選手名、決め台詞、カウントダウン等の一時的な大きな声  
※例)「○・○・○! (○は選手やチーム名)」、「1、2、3、○○! (○はチーム名)」等
- ・選手と客席によるコール&レスポンスで一時的に発する大きな声  
※例)「(コール) ○・○・○ー! (チーム名や決め台詞等)」、「(コール) ○・○・○ー!」等
- ・大きな声でのコーチング

#### (2) 飲食に関すること

- ・必要以上に大きな声で会話をしない。

#### (3) ゴミに関すること

- ・ゴミが出た場合は、必ず各自で持ち帰る。

#### (4) 会場内外での過ごし方に関すること

入場に制限がある場合は、会場内にいる時間は必要最低限の時間とする。自チームの試合やTO等の終了後にはすみやかに会場をあとにし、他チームの試合観戦等を行わない。但し、参加人数が少なく、観客席やギャラリーにおいてお互いの距離を十分に確保できる場合は、主催者の判断で体育館内にとどまることが許可される場合もある。

### 3 大会本部への報告・連絡

大会初日4日前から大会最終日までにチーム内で以下の状況が発生した場合は、速やかに報告する。

①チームを指揮するコーチが感染者/濃厚接触者/体調不良者となり、コーチライセンス保持者が不在となった場合

※コーチ不在の場合の対応はJBAが定めているガイドラインに準ずる。

②上記以外の事象で、チームが大会参加にあたっての判断に迷う場合

#### (1) 報告の流れ・方法

・流れは「当該チーム責任者 → 地区委員長 → U15 カテゴリー副部長」とする。

## 4 その他

#### (1) ガイドライン作成について

新型コロナウイルス感染症拡大防止ガイドラインの作成に当たっては、「日本スポーツ協会」より出されている「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン（令和2年5月14日発，5月29日改訂）」、「日本バスケットボール協会」から出されている「JBAバスケットボール事業・活動実施ガイドライン（第6版 2023年3月13日作成）」、および、千葉県小中学校体育連盟より出されている「千葉県中学校総合体育大会における観客について（令和3年5月12日）」を参考に作成。

#### (2) ガイドラインの変更について

このガイドラインの変更にあたっては、移行期間におけるステップごとの緩和の目安、使用や開催の制限などについて政府（スポーツ庁・文部科学省等）、千葉県、開催地区市町村より発出される要請の内容に基づいて変更されることがある。

変更された場合は、（一社）千葉県バスケットボール協会U15 カテゴリー一部会ホームページを通じて連絡する。